

11月5日 7-4

2024-11-05

目次

| | |
|-------------|---|
| 2 項分布 | 1 |
| 正規分布 | 1 |

2 項分布

$X \sim \text{Bin}(n, p)$ とする。

p の推定量 $\hat{p} = \frac{X}{n}$ は $E_p[\hat{p}] = \frac{E_p[X]}{n} = \frac{np}{n} = p$ より不偏推定量である。

推定量の分散は $\text{Var}[\hat{p}] = \frac{\text{Var}[X]}{n^2} = \frac{p(1-p)}{n}$ である。

2 項分布の確率変数 $f(x, p) = p^x(1-p)^{n-x} \binom{n}{x}$ の対数を p で微分すると

$$\begin{aligned}\ell'(p, x) &= \frac{\partial}{\partial p} \left(x \log p + (n-x) \log(1-p) + \log \binom{n}{x} \right) \\ &= \frac{x}{p} + \frac{-(n-x)}{1-p} = \frac{x-np}{p(1-p)}\end{aligned}$$

となる。従ってフィッシャー情報量は

$$I(p) = E[\ell'(p, X)^2] = \frac{E[(X-np)^2]}{(p(1-p))^2} = \frac{np(1-p)}{(p(1-p))^2} = \frac{n}{p(1-p)}$$

となり、これは $\frac{1}{\text{Var}_p[\hat{p}]}$ に一致する。したがって \hat{p} は $UMVU$ であることが確かめられた。

正規分布

次に正規分布の母平均 μ の推定において標本平均 \bar{X} が $UMVU$ であることを示す。

まず、 μ に関するフィッシャー情報量を求める。

$$\ell(\mu, x) = -\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2} - \frac{1}{2} \log(2\pi\sigma^2)$$

を μ で偏微分すると $\ell'(\mu, x) = \frac{x-\mu}{\sigma^2}$ を得る。したがって、

$$I(\mu) = \frac{E[(X-\mu)^2]}{\sigma^4} = \frac{1}{\sigma^2}$$

となり、 \bar{X} が $UMVU$ であることが示された。